

第 611 回 役員会(臨時) 議事概要

- 1 日 時 令和 6 年 2 月 19 日 (月) 9 時 30 分～10 時 22 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 構成員 8 名：
牛木学長，川端理事，坂本理事，澤村理事，末吉理事，染矢理事，
西田理事，塚本理事
陪席者 3 名：
富田特命理事，田代監事，逸見監事

4 議事概要の確認

第 607 回(令和 6 年 1 月 19 日)，第 608 回(令和 6 年 1 月 29 日)，第 609 回(令和 6 年 1 月 30 日)，第 610 回(令和 6 年 2 月 1 日) の議事概要が確認された。

5 審議事項

(1) 運営費交付金における業務達成基準を適用する事業の指定について

運営費交付金における業務達成基準を適用する事業の指定について，資料 1 に基づき審議が行われ，原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし

(2) 令和 6 事業年度長期借入金の借入れ及び償還計画の認可申請について

令和 6 事業年度長期借入金の借入れ及び償還計画の認可申請について，資料 2 に基づき審議が行われ，原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・設備整備に関しては，いずれも必須のものである。脳神経外科手術ナビシステムについても，現在の医療レベルを考えると，更新が必須であると考えている。なお，このナビシステムに関しては，脳神経外科となっているが，横断的に無駄のない設備整備を進めるべく，他の診療科とも調整の上で，最大活用できるように進めている。
- ・今後の西病棟等の開発についてはどのように想定しているのか伺いたい。
- ・西病棟については，劣化がかなり進んでおり，給水バルブの劣化破損による漏水も起きたりしている。また，今回の新型コロナウイルスのパンデミックで分かったように，本院のような古い構造では新興感染症が起きた場合に対応できない部分もある。そういったミニマム・リクワイアメントでの病院の機能を整理する作業を始め，あるべき施設整備という方向に進むべきタイミングであると思っている。

(3) 令和6事業年度長期借入金の借入れ及び償還計画の認可申請について

令和6事業年度長期借入金の借入れ及び償還計画の認可申請について、資料3に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし

(4) 「新潟大学医歯学総合病院長候補者選考委員会」の委員の選定について

「新潟大学医歯学総合病院長候補者選考委員会」の委員の選定について、資料4に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし

(5) 「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」への申請について

「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」への申請について、資料5に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・資料24 ページ目のAP (Advanced Placement) プログラムについては、審査員にも精通している人が多いと思う。そういった意味ではAPプログラムの内容が含まれてはいるものの、少し弱いようにも感じる。他大学においても、女子枠を設けたり、女子学生にかかる単位互換等が行われ始めているので、そこを活かせない内容だと差が出てきてしまうように思う。中身は問題ないと思うが、冒頭にそういった理念が明確に出ていた方が良いと思う。
- ・確かにAPプログラムの部分が弱いと感じている。本学の女子学生に対する理系教育等の目標や理念といった内容を冒頭に入れるようにしたい。
- ・採択となった場合に、この大学はしっかりとやってくれるという印象は持ってくれると思うが、他の提案に比べて目立つ内容ではなく、企画は多いものの、女子学生の増加につながるように見えないと思われる可能性もある。
- ・応募機関についての内容の部分で、本学の特徴やこれからの方向性等を記載したいと思う。
- ・オーセンティックでオーソドックスな内容になってしまっていると思う。例えば、24 ページ目の中に女子中高生に対する個別メンタリング等を加えても良いと思う。また、教育学部とも連携する形とすることで、教員の意識も醸成し、そういった教員が新潟県だけではなく日本全国に広がっていくという話にもなり得ると思う。
- ・教育学部がサポートできるという可能性を入れておくこと、今回のプログラムを実施するだけで終わらないための仕組みとしてのメンタリング等を行うこと、本学がAPプログラムや単位互換、女子枠などといった部分に対する目線が強いと

ということを見せることを明確に出したうえで、オーセンティックな内容のものを行うとしたほうが、地に足が着いた内容になると思う。プログラムの中身自体は全く問題ないと思うので、そういった理念の部分を表にはっきりと明示できると魅力的な内容になると思う。

6 報告事項

(1) 令和4事業年度における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について

西田理事から令和4事業年度における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について、資料6に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし

(2) 医歯学総合病院診療実績（令和5年12月分）について

富田特命理事から医歯学総合病院診療実績（令和5年12月分）について、資料7に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・他の国立大学においてもかなり厳しい状況が続いているようである。この1, 2年はしのげたとしても、診療報酬の増収の見込みも立っていない状況であるので、相当に厳しい中での、中長期の運営になるのではないかという印象である。
- ・国立大学協会でも大学病院の状況について話題になっており、改修等による借入を行って間もない大学病院はさらに苦しい状況であると思う。

(3) 国立大学病院診療実績比較（令和4年度）について

(4) 「共創の場形成支援プログラム」の選定結果について

報告事項の(3)及び(4)については、口頭による説明は省略し、役員において資料8及び資料9を確認した。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし